

# ふるさとの杜 再生プロジェクト

プロジェクトの実施イメージ

プロジェクトの目的  
東部地域における緑の再生・創出

事業の実施イメージ  
市民・NPO・企業等の皆様の力を結集し、継続的な取り組みによって、ふるさとの杜の再生を図ります。

ふるさとの杜の位置付け  
海岸防災林や海岸公園、居久根など、かつて東部地域の風景を成した、また復興の過程で新たに生じるみどりについて、これらを「ふるさとの杜」として、市民協働の推進や事業間の連携を図りながら、その再生・創出に取り組みます。

植える  
参加される皆様によって植樹を行います。また、植樹作業の推進に御協力いただける方を募集します。

育てる  
参加される皆様によってみどりの維持管理活動を行います。また、管理作業の推進に御協力いただける方を募集します。

支える  
植樹が必要となる樹木の寄付を募ります。また、植樹作業の維持管理に必要な樹木・資材購入費の寄付を募集します。

「ふるさとの杜再生寄付」を募集しています  
寄付金は、「ふるさとの杜再生プロジェクト」事業で使用する苗木や資材の購入費用などに充てさせていただきます。寄付していただける方は事前に百年の杜推進課へご連絡ください。

## 海岸公園の再整備状況

海岸公園の再整備が進んでいます

東日本大震災で甚大な被害を受けた海岸公園は、昨年10月より荒浜地区のパークゴルフ場9ホール及び蒲生地区の野球場2面(少年野球・ソフトボール兼用)を先行再開しておりますが、残るパークゴルフ場14ホールと野球場4面につきましても復旧工事が終わり、7月1日より荒浜地区と蒲生地区とも全面再開いたします。当日は荒浜地区で式典を行うほか、パークゴルフ場14ホールの無料開放を予定しております。

また、井土地区につきましても平成30年度内の開園を目指し、再整備を進めてまいります。

6月3日、海岸公園蒲生地区で行われた記念植樹の様子

「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」Facebookページがオープンしました

平成29年3月より、事業についてのご紹介や仙台市東部地域における植樹・育樹イベントなど、みどりの復興活動を発信しております。震災から6年を迎えた今、皆様に仙台市のみどりの復興の様子を知っていただき、復興の輪を広げてまいりたいと思います。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

ふるさとの杜再生プロジェクトに関するお問い合わせは、仙台市建設局百年の杜推進課 022-214-8389まで

# おいしさを やさしさを つくりたい。

お米づくりは、自然と人間の共同作業。

宮城では、農業や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、環境に配慮した「みやぎの環境保全米」づくりに取り組んでいます。

「環境保全米」は、このマークが目印です。

- 水。土。生命。守りたい自然があります。
- みなさまに、安全・安心なお米をお届けします。
- おいしい笑顔のために、これからもずっと。

JA全農みやぎ 米穀部 米穀販売課  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2番16号  
TEL.022-264-8381

# 子どもと地域の未来のために 育てよう、みどりを。

2017 百年の杜づくり おしあのみどり キャンペーン

自分たちで植え咲かせたことで、園児たちがより花に興味を

ピンク、赤黄、園庭の外周にめぐらせた花壇に3色のチューリップやヒヨナなどが元気に咲き誇るハンビの森保育園。以前の花壇を、もっときれいにしたいと、「2016あしたのみどり」キャンペーンの花壇づくり支援に応募。昨年11月、「花と緑の力」で11プロジェクトのみやま委員会(通称、花プロジェクト)のサポートを受けて、花壇を大きくリニューアルしました。

整備された花壇にはヒヨナの苗やチューリップの球根などを植え、様子を見て水やりなどの手入れをしていました。雪が降った日は、ヒヨナがしゃべれるかもと心配し、「春まで頑張ろう」と語りかけていたと話す園長の豊坂美津子先生。「子どもたちも園庭の中から花壇を眺め、チューリップの芽が出る様子を見ていました」。

4月上旬にまずヒヨクが咲きだし、次々に咲く鮮やかな花に、子どもたちは大はしゃぎ。開園して見とれそうに、水やりはみんな自分でやっています。冬の間、園庭中のプランターには何も植えていないのですが、子どもたちは春になったら何を植えようかと先生たちと話し合っていました。園長先生によれば、自分たちで植えて咲かせたことで、子どもたちが花により興味を持つようになったとのこと。

大きなジョウロで水を、子どもがセットと水やり。チューリップが咲きだしたらは、われ先にと競い合うほどに

## 子どもたちからも 感嘆の声、愛称に ふさわしい美しい花壇に

「以前の花壇とは全然違います。こう語るのは錦ヶ丘ネット会長の笠原正一さん。自治会やPTAをはじめ団地内の各種団体と連携して活動している錦ヶ丘ネットでは、仙台市天文台に続く幹線道路「フラワー・スタースターロード」沿いの花壇に、定期的に花を植えています。

ところが土が硬く、雑草が多いなど花壇として問題があったことから、あしたのみどりキャンペーンに応募。昨年の11月下旬、各団体の皆さんや、小学校の先生、児童、地域住民合戦で100人余りが集まり、花プロジェクトの指導の下、土を入れ替えるなど大がかりな改良を行いました。「前は土が硬くてヒヨナも小さい感じがして、いまは土が柔らかい感じがしています。チューリップが咲いている姿は綺麗で、みんな喜びんでいます」と、花壇の変わりぶりに満足した笠原さん。子どもたちも、立ち止まって「きれい!」と口々に声を上げています。

4月下旬、この日はちょうど、有志による豊取りの日。団地内にある花と緑の会、河川愛護会との

子どもたちからも感嘆の声、愛称にふさわしい美しい花壇に

錦ヶ丘ネット

土を入れ替えたことで、それぞれの花壇には雑草が、花が生き生きと咲き誇り、地域の皆さんや行き交うドライバーの目を惹きつけています

## 荒浜地区の市民植樹に 神戸市の中学生も参加

3月25日(土)、若林区の海岸公園(荒浜地区)において市民植樹が行われました。これは仙台市が、東日本大震災により甚大な被害を受けた東部沿岸地区のみどりの再生をめざす「ふるさとの杜再生プロジェクト」の一環です。当日は七郷地区などの地元町内会の方や、七郷小学校の子どもたちに加え、緑の活動団体、支援団体・企業、過去の百年の杜フォーラム参加者など約200名が参加。5エリアに分かれて、サクヤシラカシ、ドウダンツツジなどのほか、向山小学校の子どもたちやごんぐりの実から育てたコナラやクヌギの苗木を含めて約1300本。親子で参加していた七郷小学校4年(現5年生)の今野鞠々波(ここのま)さんによれば、学校でも震災前に行った冒険広場のみどりを復活させようというプロジェクトが進行中とのこと。「みなでマツの苗を育てて、6年生になったら植えにきます」と元気で話してくれました。

また当日は、阪神大震災の被災地である神戸市の市立廣福(からど)中学校の2年生も参加。東日本大震災の被災地のために学校で育てたドウダンツツジを届けようとして来た仙仙(せんせん)さん、森山翔彰(しょうしょう)さん、震災風景に心を痛めながら、「被災地のみどりに戻ってくれたらうれしい」と話してくれました。

今年で9年目を迎えた「あしたのみどりキャンペーン」。昨年から取り組みを継続し、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、「一人一人にみどりを育てるための活動を広げること」を目指して展開しています。杜の都仙台の豊かなみどりを未来につなぐために、本キャンペーンに情報や要望をお寄せいただくことに、みんなでみどりに親しみ、みどりを育てていきましょう。

市民植樹では、参加者が5つのエリアに分かれ、コナラやクヌギ、シラカシなどの苗木を、手分けして植えていきました(左)学校でもマツを育てていると話す七郷小学校の今野鞠々波さん(右)神戸から苗木を届けられた市立廣福中学校の森山翔彰さん

## おいしいさを やさしさを つくりたい。

お米づくりは、自然と人間の共同作業。

宮城では、農業や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、環境に配慮した「みやぎの環境保全米」づくりに取り組んでいます。

「環境保全米」は、このマークが目印です。

- 水。土。生命。守りたい自然があります。
- みなさまに、安全・安心なお米をお届けします。
- おいしい笑顔のために、これからもずっと。

JA全農みやぎ 米穀部 米穀販売課  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2番16号  
TEL.022-264-8381

## みどりを 楽しみ 育む

あしたのみどりキャンペーンは、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、一人一人にみどりを育てるための活動を広げることを目指します。

# 2017 あしたのみどり キャンペーン

## 本日スタート! 12.31(Sun)まで

## みどりを 楽しもう! わたしの好きな「みどりのある風景」募集中

宮城県内で、あなたの好きな公園、森林、田畑、緑地、公共施設、民間施設、道路、街角、一般家庭、その他で、みどりや花などがあるお気に入りの場所の情報を、画像データにコメントを添えて投稿してください。お寄せいただいた情報は、あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト内および一部を河北新報紙面で紹介させていただきます。

応募方法  
あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像を添付の上、投稿してください。

応募期間: 11月30日(木)まで  
公開期間: 6月15日(木)~12月31日(日)  
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも! 詳しくは、WEBサイトをご覧ください

抽選でプレゼント!

## みどりを 育てよう! 「植樹・花壇づくり支援」希望団体 募集中

宮城県内を拠点とする、町内会、幼稚園・保育所、学校、地域の非営利団体などで、植樹や花壇づくりなどの支援を希望する団体を募集します。地域に花やみどりを育てるために活動する、みなさまからのご応募をお待ちしています。

応募方法  
あしたのみどりキャンペーンのWEBサイトの応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

応募期間: 6月30日(金)まで  
植樹・花壇づくり支援実施時期: 9~10月  
実施数: 2~3カ所を予定  
(応募には条件があります。詳しくはWEBサイトでご確認ください)

http://www.a-midori.jp

杜の都のみどりを育むことを目的に、2009年からスタートした「あしたのみどりキャンペーン」。東日本大震災後には「失われたみどりの再生」をテーマに加え、仙台市沿岸部被災地域での公園づくりや植樹活動など、みどりを通じた震災復興支援をサポートしてきました。震災から5年を過ぎた昨年からは、皆さまからの情報提供や要望をもとに、キャンペーン独自に植樹や花壇づくり支援を実施。より積極的にみどりを育み、地域コミュニティ再生に寄与する取り組みへとシフトしています。

美しい花を見ると、子どもたちも思わずニコリ。自分たちが植えて咲かせた花なので、愛護もひとおです

2016 あしたのみどり キャンペーン

企画・制作 河北新報社営業局